

展示室1 / 展示室2の構成

展示室1では、「家康と静岡」との関わりからひもとき展示を構成していくことで「静岡の良さ」を知ってもらうことを目的に、家康の一生に「戦う家康」(甲冑3領)をプロローグ(入口)として明確に位置づけ、各甲冑から今川氏、大御所外交、東海道と駿府城下町をテーマにした3つのゾーンへと誘います。

展示全体としては「家康」に焦点を当てるとともに、それぞれのゾーンにおいては「人」にフォーカスした展開とすることで、来館者が、歴史上の人物の生き方に自分を重ね合わせて考えたり、感じたりできる、「歴史の自分化」を促し、展示に対する興味・関心を高める工夫とします。

また、展示室2は、「駿府の近現代」のスペースと共用とし、随時展示替えできるスペースとして位置づけます。

